

外観のみ見学可

きんじょう
株式会社 金 上 繭 倉 庫
～美しき白壁の繭倉庫～

◆大量の繭を保管する繭倉庫

生糸の原料となる繭は、製糸業にとって繭はとても大切なものであった。繭は、蛾となって羽化する前に乾燥させなければならない。製糸工場では繭を大量に購入し、一括して乾燥させ貯蔵する施設が必要となる。また大量の繭を火災から守るために土蔵造りで白壁の繭倉庫が建てられた。

◆受け継がれる製糸業の遺産

旧サスダイ中村甫助製糸所の繭倉庫として、明治時代に建てられた。木造3階建、鉄板葺で、入口の土戸が大きく、土蔵の延長としての特徴がある。昭和32年に、卸業の株式会社金上が譲り受けて改修し、現在も倉庫として大切に利用されている。



現在も使用されている株式会社金上繭倉庫。